

当日開催レポート

KURASHIFUTO CONFERENCE

くらしふと
カンファレンス

～ゼロカーボンへの熱量を上げ、飛び火させよう～

2026

2026
3/16 mon
11:00～

くらしふとカンファレンスは気候変動やゼロカーボンに取り組む実践者と、持続可能な地域づくりに取り組む個人・企業・行政プレイヤーが出会い、ゼロカーボンを通じてより豊かな信州を共に創っていくための共創型カンファレンスです。
今回の「くらしふとカンファレンス2026」では、県内外・産官学民の多様な実践者や県内各地で生まれているゼロカーボン・プラットフォーム同士が、2050ゼロカーボン実現に向けた取組を加速し、その輪をさらに広げるためのセッションを行いました。

プログラム

- 11:00～ **開会・阿部知事あいさつ**
キーノートセッション
- 11:10～ **長野県ゼロカーボン戦略の中間見直しについて**
セッション
- 11:50～ **箕輪町の脱炭素まちづくりから“共創のカギ”をひも解く**
ランチョン共創ピッチ
- 13:20～ **熱を表に出そう ～取組紹介&協働勧誘～**
- 14:10～ **長野県内のゼロカーボン・プラットフォームの取組と展望**
セッション
- 15:40～ **熱を表に出そう ～取組紹介&協働勧誘～**
ティータイム共創ピッチ
- 16:30～ **クロージングセッション
熱を次につなげよう**
- 17:00～ **閉会**
- 17:30～ **交流会**

当時のアーカイブ動画は
こちらからご覧いただけます



長野県ゼロカーボン戦略の 中間見直しについて

01

長野県のゼロカーボン戦略の中間見直しから見える
脱炭素の現在地と可能性について考察しました。



長野県が全国に先駆けて取り組んできた県ゼロカーボン戦略は、策定後5年を経過し、中間見直しの年に当たります。キーノートセッションでは、長野県地球温暖化対策専門委員会のメンバーや阿部守一長野県知事により、「気候非常事態宣言」を都道府県で初めて発表した長野県の取組を起点に、世界的な脱炭素の潮流と日本が直面する課題、長野県の挑戦が新たな道筋を示す可能性など、ゼロカーボンの実現に向けた現状と今後の方向性について議論が行われました。行政のみならず県民や事業者が「未来への責任」を共有しながら地域レベルの実践を飛び火させて取組を進めていくことの重要性が共有されました。



箕輪町の脱炭素まちづくりから “共創のカギ”をひも解く

02

わずか5年で注目を集めた箕輪町のゼロカーボン施策。
その背景にある、組織と地域を動かす官民連携の仕組みとは。

わずか5年で全国から注目される先進事例へと成長した長野県箕輪町のゼロカーボンの取組。その背景には、単なる環境施策にとどまらない、官民連携による地域共創の仕組みがあります。本セッションでは、「自身の熱量を上げ、全包围に飛び火させる」というキーアクションを軸に、どのように組織や地域を動かしてきたのかが語られました。学びと対話を重視した合意形成や地域コミュニティを活かした実践の積み重ねは、他地域での取組のヒントとなることが指摘されました。



熱を表に出そう ～取組紹介 & 協働勧誘～

03

脱炭素化に取り組む団体が、自団体の活動や他団体と連携して実現
したいことについて紹介しました。

セッション

04

長野県内のゼロカーボン・プラットフォームの取組と展望

県内各地のプラットフォームが取組内容と今後の展望を発表。団体同士の連携について意見を交わしました。



ゼロカーボンの実現に向けた取組は県内各地で広がりを見せており、その進め方は多様です。地域ごとに異なる課題や資源、関係主体の違いを背景に、どのような連携が生まれ、それがどのように具体的な実践へとつながっているのか。

本セッションでは、県内各地で展開されているプラットフォームの取組や課題へのアプローチが紹介されました。各地域の特性を色濃く反映した多様な実践が提示される中で、プラットフォームのあり方や可能性について理解を深めるとともに、今後の取組を考える上で、多くの気づきを得られる場となりました。

ティータイム
共創ピッチ

05

熱を表に出そう ～取組紹介 & 協働勧誘～

脱炭素化に取り組む団体が、自団体の活動や他団体と連携して実現したいことについて紹介しました。

クロージング
セッション

06

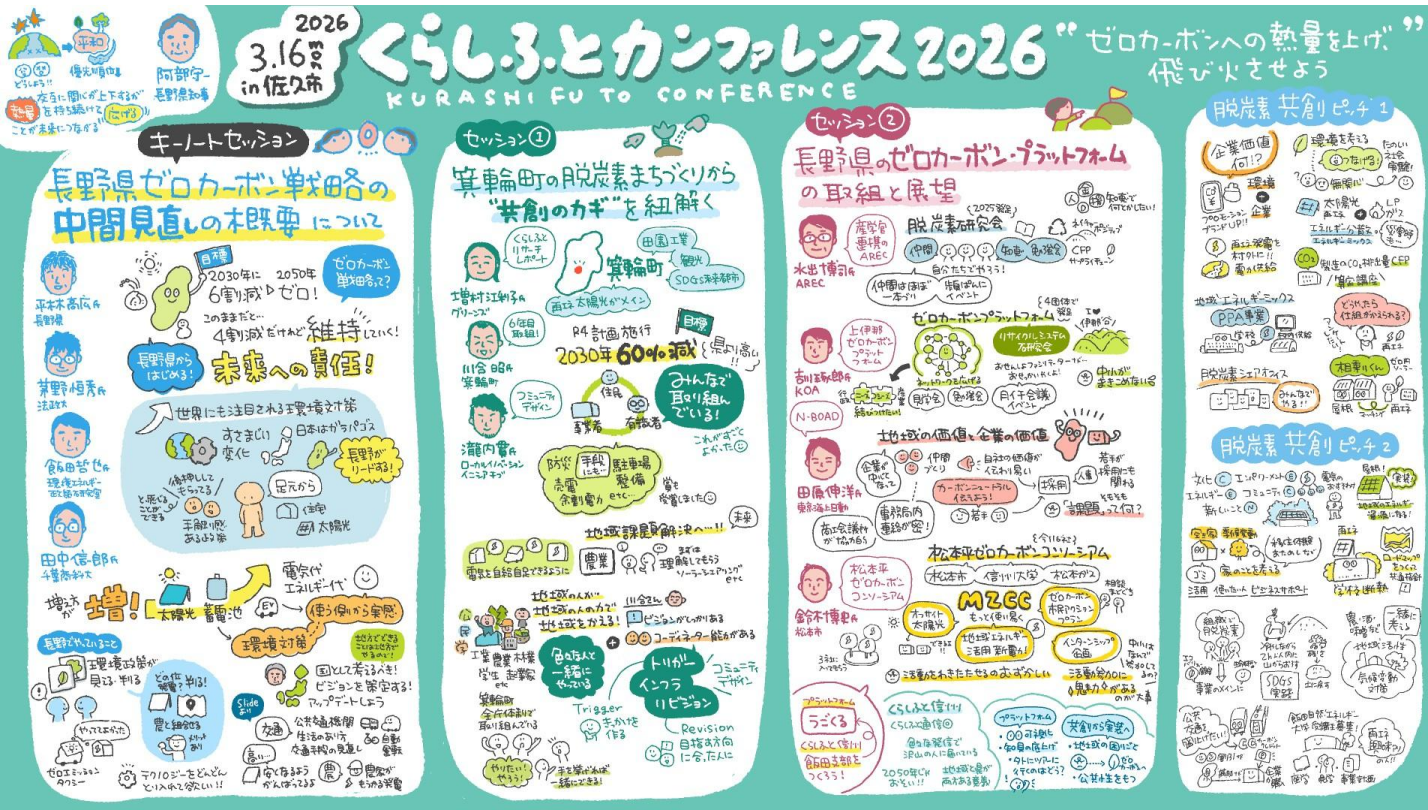
熱を次につなげよう

カンファレンス全体を振り返りながら、ここで得られた気づきやつながりを、次の一歩へとつなげる。参加者の声をもとに、そのヒントを探りました。

一日を通じて交わされた多様な議論や実践の共有を受けて、カンファレンスは最終セッションへ。そこで改めて問われたのは、ここで生まれた気づきやつながりを、これからどのように現場での行動へとつなげていくのかという点でした。

クロージングセッションでは、これまでの内容を単に振り返るだけでなく、次に進むための視点や手がかりを探る場として、くらしふと信州の運営メンバーと参加者がともに考えを深めました。





作成：グラフィックデザイナー 江村 康子 さん



【お問い合わせ先】

暮らしふと信州事務局（長野県環境部ゼロカーボン推進課）

住所：〒380-0834 長野市大字間御所町 1250-1

TEL：026-235-7341

Mail：kurashifuto@pref.nagano.lg.jp

暮らしふと信州
WEBサイトはこちら！



暮らしふと信州

検索